

第1767号

2015年9月6日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

8・30「国会10万人・全国100万人大行動」

# 根室でも！

(写真 = 市内大型店前で、戦争法案廃棄、安倍首相退陣を求めてアピールするみなさん)



違憲立法・戦争法案の廃棄と安倍首相の退陣を迫る「国会10万人・全国100万人大行動」が8月30日に行われました。北海道から沖縄まで列島津々浦々に戦争法案と安倍政権への怒りのコールがとどろくなか、根室市においても「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動根室実行委員会」の呼びかけのもと、15名の市民が結集し、戦争法案反対の声をあげました。

晴天の下、午前11時にコープさつばろ根室店前に集合した「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動根室実行委員会」のみなさんは、ねむろ「九条の会」事務局の神忠志議員の進行で、次々とマイクを握り、買い物客や通行中の市民の皆さんに訴えました。

はじめに、根室「九条の会」の佐藤巧氏、続いて社民党根室支部の波多雄志議員、日本共産党根室市委員会の鈴木一彦議員、新婦人根室支部の高本みさ子さん、建交労根室支部の安達正敏氏、根室連の坂本勇治氏、勤医協友の会根室支部の神田雄一氏、最後に総がかり行動根室実行委員会の細川憲了実行委員長が訴えました。

鈴木一彦議員の訴え

このうち鈴木一彦議員は、安倍首相（自民党総裁）が、2、3年前まで「日本人も（戦地で）血を流して貢献しなければならぬ」と持論を述べていたこと、また、近ごろ政治と金の問題で自民党を離党した武藤孝也衆議が、若者の戦争法案反対の行動について自身のツイッターで「戦争に行きたくない」というのは、きわめて自分中心で利己的」とツイートしていたことをあげ、自民党のなかに「戦争法案が戦争するためのものだ」という認識がある証拠だ」と訴えました。鈴木氏はさらに、安倍首相がマスコミなどで、戦争法案が「戦争させない、平和のための法案だ」などと述べていることに対して、「本音」をかくす欺瞞だと強く非難しました。

戦争法案廃案はいよいよ正念場！

戦争法案ノーの声を政府・与党に突きつけた8月30日の全国大行動は、12万人が結集した国会議事堂周辺をはじめ全国1000カ所以上で取り組まれ、まさに日本全土を揺るがすものとなりました。国内外のメディアで大きく取り上げられるなど大成功した行動を踏まえ、なんとしても廃案を実現するための国民のたたかいが、いよいよ正念場をむかえています（9月1日付「しんぶん赤旗」より）。

根室市においても、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動根室実行委員会」の主催で3日実施の、北海道新聞社編集委員の往任（とこずみ）嘉文氏を講師に迎えた「安保法案イケン！戦争イカン！平和がイチバン講演会」をはじめ、署名活動、宣伝活動など様々な取り組みが行われます。より多くの方のみなさんの参加で、戦争法案を廃案に追い込みましょう！